

加木橋

～学校・生徒・家庭をつなぐ～

滑川中学校 第3学年 学年だより 第3号

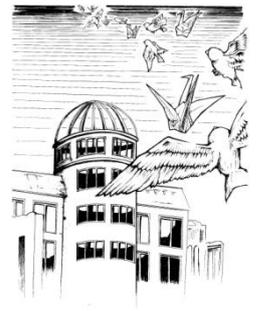
平成26年5月30日発行

修学旅行無事終了。さらなる成長を期待して……

5月14日～16日、二泊三日の修学旅行が終わりました。保護者のみなさまのご協力ももちまして、トラブルもなく、体調を崩す生徒もほとんどなく、無事に全日程を終えて帰ることができて安堵しております。この場を借りて感謝申し上げます。生徒はこれまでの学校生活で身に付けた力を思う存分発揮しながら、広島で平和について考え、奈良や京都で本物の歴史遺産を目にしてきました。この修学旅行を通して、生徒全員がこれからの人生に向けての大きな礎（いしずえ）を築いてくれたものと思います。

私自身最も感銘を受けたのは、阪神・淡路大震災を体験された中学校の元校長の近藤先生のお話です。当時、震災で避難所となった中学校に4689人の人たちが集まりました。学校が心配でかけつけてくれた十数名の生徒たちが、19日間、自分たちで何をやればいいのか考えて行動しました。例えば支給された限られた弁当をどう公平に分けるかなど、被災した人たちのために子供たちが必死になって大人の手を借りずに活動したエピソードをいくつも紹介され、生徒は人間の本当の優しさや思いやりを学ぶことができました。近藤先生は「神戸の子供たちは決して特別な生徒たちではない、皆さんにも同じ力があります」と滑中生の可能性を力強く讃えて、勇気付けていただきました。一生心に残るお話でした。

生徒は今3日間の思い出を新聞にまとめる作業をしています。思い出に浮かれることなく、これまでと同じように真剣に授業を受け、後輩の面倒をみながら部活動にも励んでいます。これからのいろいろな場面の中で、修学旅行の体験を通して成長した生徒の姿を発見するのを楽しみにしていきたいと思います。（学年主任 角川 誠）



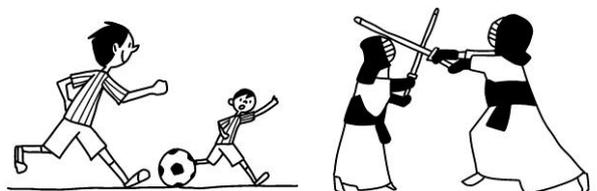
【6月の行事予定】 ※予定は変更になることがあります。

- 2日(月) 生徒会委員会
- 4日(水) 聴力検査
- 5日(木) 眼科検診、集金1次振替日
- 6日(金) 避難訓練(火災)
- 1日・7日・8日・21日・28日 市民体育大会
- 8日(日) かつみ野音楽祭
- 9日(月) 育成会コンサート、耳鼻科検診
- 14日(土)、15日(日) 新川地区大会
- 15日(日)、16日(月) 櫛原神社祭礼
- 16日(月)～19日(木) 教育相談
- 16日(月) 集金2次振替日
- 17日(火) 櫛原神社清掃活動
- 21日(土)、22日(日) 新川地区大会(軟式野球)
- 23日(月) 期末考査日割り発表(部活停止7月1日まで)
- 30日(月)～7月2日(水) 期末考査



【7月の主な行事】

- 5日(土)・6日(日) 県選陸上
- 12日(土) 土曜授業
- 18日(金)・22日(火)・23日(水) 保護者懇談会
- 19日(土)～21日(月) 県選手権大会
- 23日(水) 給食終了
- 24日(木) 終業式
- 27日(日) 全日本吹奏楽コンクール 富山県大会



今こそ勉強と部活動の両立を……

運動部にとっては、市民体育大会や全国大会につながる新川地区総体など大切な大会を迎える時期となりました。どの部も休日を返上し、延長練習をするなどしてがんばっております。一方授業の学習内容はこの時期から難しくなります。課題などその都度しっかりこなしていかなないとわからなくなってしまいます。1・2年生の学習内容を復習するために、テキスト学習も並行して行わなければなりません。3年生にとってはこの時期が一番の踏ん張りどきです。「必ず両立するぞ」という意気込みで、集中して授業を受け、家庭でも毎日最低2時間は勉強して、部活も勉強もよい結果を残してほしいと思います。保護者のみなさま、是非お子さんを応援してください。

頑張ったね！リレーカーニバル

5月1日（木）、クラスの団結を発揮するリレーカーニバルがありました。どのクラスも、最後まであきらめることなく一生懸命バトンをつなぎました。当日はたくさんの保護者の皆様にも応援にかけつけていただき、ありがとうございました。

【結果】

男子	1位…4組	2位…5組
女子	1位…4組	2位…2組
混合	1位…4組	2位…2組
総合	1位…4組	2位…2組



オープンハイスクール・オープンキャンパスについて

7月下旬から8月を中心に、県立・私立高校のオープンハイスクール、国立高专ではオープンキャンパスが実施されます。これは、生徒自らが体験授業や実習に参加したり、部活動見学などを行ったりすることにより、各校の特色ある教育活動を知るとともに、今後の進路選択に役立てていくことをねらいとしています。

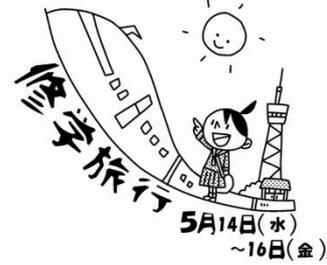
- ① 県立高校のオープンハイスクールのくわしい日程や内容については、本日配布した資料を参考にさせていただきたいと思います。
- ② 定時制の県立高校は秋に実施されます。
- ③ 私立高校、国立高专のオープンハイスクール、オープンキャンパスの詳細については、まだ本校に届いておりませんので、後日生徒を通してお知らせします。

特に県立高校については7月の最終週に集中しており、親子でよく相談し、自分の目標を実現できそうな学校を選択してほしいと思います。

この夏休み期間の参加については、少なくとも1人1校は参加されますようお勧めします。6月3日（火）に参加申込用紙を配布し、6月6日（金）を校内申込み締め切り日といたします。

「はじめのある行動をとり、仲間と最高の思い出をつくろう」

～修学旅行を終えて～



修学旅行で僕はたくさんのことを学びました。1日目は、原爆や災害の恐ろしさについて学びました。戦争は2度としてはいけないことだと思いました。2日目・3日目は、日本の文化や歴史について学びました。たくさんのお寺などを見て回ったことで多くのことを知りました。修学旅行で学んだたくさんをこれからの学校生活や人生で活かしていきたいです。
(1組男子)

修学旅行を終えて、私はたくさんを学びました。1日目の平和公園見学では、原爆の恐ろしさ、原爆で失われたたくさん命について学びました。そして、原爆をなくし、平和な世界にするために私たちにできることは、原爆の恐ろしさから目をそらさず、後世に伝えていくことだと思いました。2日目のUSJでは、修学旅行の中で1番の思い出になりました。しかし、それは班員1人1人がわがままを言わず、班行動をとることができたからだと思います。3日目の京都班別学習では、京都古来の建物の歴史、京都の伝統あるものなどをタクシーの運転手さんが詳しく解説をしてくださったおかげで、京都についてたくさん知ることができました。この3日間たくさんを知ることができ、よかったです。
(1組女子)



私は平和の尊さと、思いやりの大切さを学びました。事前学習でその悲惨さをわかっていたつもりだったけれど、実際に自分の目で見てみると想像以上で、私が今こうして何不自由なく暮らせていることがどんなに幸せかを感じることができました。特に原爆ドームはそこだけ時間を切り取ったようで、語り継いでいかなければならないと思いました。班別での行動や宿舎での活動などでは、人に思いやりを持ち、意見を尊重することで全員が楽しく過ごせるのだと感じました。これは普段の生活にも生かしていきたいです。3日間という長いようで短い時間だったけれど、いい思い出ができて本当に良かったです。
(2組女子)



広島での学習は想像以上のものでした。見ていてとても辛いものでした。今後、世界が本当に1つになればいいと思いました。神戸の話も悲しい話です。でも、それを乗り越えた人々が素晴らしいと思いました。奈良では、たくさん鹿と出会えてうれしかったです。USJはアトラクションやスヌーピーたちに会えたことに興奮し、とても楽しかったです。京都では、タクシーの運転手さんにとっても親切にいただき、充実したコース見学ができました。この修学旅行は、私たちのために頑張ってくれた方々のおかげで楽しくなったのだと思いました。
(2組女子)



修学旅行を通して僕が学んだり、成長したりしたと思えることは、自主・自律です。それは京都の班別学習やUSJの班別行動で、今、自分がどこにいて、どこへ行けばいいかを自分で考えたり、わがままを我慢したりすることなどで養われたと思います。また、タクシーの運転手さんや京都の町の人たちは初対面なのに、とても明るくあいさつを交わしてくれたり、自分たちのくだらない話に耳を傾けてくれたりと、とても親切に接してくださいました。僕は班長として、この修学旅行に参加しましたが、班員の悪い行動に気がつかず、周りが見えていなかったことが分かりました。これを改善して、毎日を過ごしていきたいです。
(3組男子)

私はこの3日間の修学旅行で相手のことを考えて行動することの大切さを改めて学びました。一人一人が自分の意見を通そうとしたら班が崩れてしまうけれど、逆に相手のことを少しでも考えていけば協力することができたからです。修学旅行の間だけではなく、これからも相手のことを考えられるようにしたいです。直すべきところは5分前行動など、時間に余裕を持って行動することです。3日間、あまりできなかったのが、これからの学校生活で少しでもできるようにしていきたいです。修学旅行は楽しいこともたくさんあったし、学ぶこともたくさんありました。良い3日間だったと思います。
(3組女子)

僕が3日間で一番印象に残ったのは広島です。USJや奈良、神戸での震災講話、京都など、たくさんの場所に行きましたが、広島を選んだのは「人の底力」というものに気付かされたからです。平和公園に行き、この近くに爆弾が落とされ、何十万人の人がなくなったと考えるとゾクッとしました。しかし、広島の人たちは諦めず、復興を遂げた姿に胸をうたれました。3日間、楽しいのはもちろんだけど、たくさんのことを見て学べたことは大きいです。これをここで終わりにせず、この後に生かして行ってこそ本当に修学旅行に行った意味があると思います。(4組男子)



修学旅行を終えて、大きく分けて3つのことを学べたと思います。1つ目は、広島や神戸で起こったことです。広島では、平和公園内や資料館内を回りました。いろいろと教えてくださった方々が心から戦争をなくしたいと思い、ボランティアを行っておられるのだろうと思いました。また、神戸での講話に出てきた何人もの生徒たちがとった行動も強く頭に残りました。これらのことから、人間ってすごい、と心から感心させられました。2つ目は、奈良や京都での建造物です。今から何百年もの昔の人々がこんなに立派な物を造れるのか、と驚きました。3つ目は、クラスメイトのことです。普段は見えなかったその人の良さが少しずつ分かったような気がします。この他にも、面白かったこと、楽しかったことは沢山あり、思い出に残る修学旅行にできたと思います。(4組女子)

修学旅行を終えて、僕は色々なことを学べたと思います。今まであたりまえにしてきたことのありがたさや、戦争の悲惨さなどがよくわかりました。戦争が世界のいろんなところで起きていて、また日本のような悲劇は絶対に繰り返してはいけないと思いました。いつもの日常生活が、どれほどありがたいかよくわかりました。いつもの当たり前のことをできない人たちだっています。そんな人たちがいる中で、僕たちは何でもしているのだから、もっとありがたみを感じないといけないと思いました。色々なことを学んだり、体験できたりしてよい修学旅行でした。(5組男子)



広島での平和学習や神戸での震災講話を今でも鮮明に思い出すことができます。修学旅行から帰ったあと、ふいに私は辞書で平和という言葉を探していました。この修学旅行で私は、平和という言葉のありがたさ、重さを学ぶことができました。そして、私はこの修学旅行でたくさんの友達をつくることができました。普段は話せなかった人も、バスや班が近くて話をするのができ、打ち解けられるようになりました。この修学旅行を経て多くのことを学び、感じられるようになりました。(5組女子)



修学旅行へ行って、たくさんのことを学びました。広島では、原爆での被害と影響について詳しく学び、平和を守ろうと思いました。奈良では、世界遺産や国宝を見て、歴史と昔の人の知恵について学びました。USJでは、乗り物に乗って班の中で楽しめたので、よかったです。京都では美しい寺や絶景など、今まで見たことのないものにふれ、感激しました。宿舎でもたくさんの思い出がつけられました。一生忘れられない修学旅行になったと思います。



(6組男子)

修学旅行の中で、多くのことを学び、仲間との良い思い出をつくることができました。広島では、原爆の恐ろしさや平和の尊さを学び、神戸での元校長先生のお話では、阪神淡路大震災の今まで知らなかったリアルな部分を知りました。この2つは日本人として、知って考えるべきことで、このために修学旅行へ来たのではないかと思います。2日目の奈良、3日目の京都では、日本の歴史的な建物や技術の素晴らしさを知ることができました。教科書や写真で見ただけでは、わからないことが伝わってきた気がしました。また、修学旅行を通して、一人一人がきちんと自分の仕事を成し遂げ、集団で行動するように努めることの大切さを知りました。一人だけでも自分の役割を果たしていなかったり、自分勝手なことをしたりすると周りに大きな迷惑がかかるんだと、改めて思いました。修学旅行を通して、学んだことや感心したことをこれからの生活に生かしていきたいです。(6組女子)

